

3章 関数とグラフ

§2 いろいろな関数 (p.88~p.97)

問1 $y = f(x)$ とおく.

$$\begin{aligned}
 (1) \quad f(-x) &= (-x)^3 + 2 \cdot (-x) \\
 &= -x^3 - 2x \\
 &= -(x^3 + 2x) \\
 &= -f(x)
 \end{aligned}$$

よって、**奇関数**である.

$$\begin{aligned}
 (2) \quad f(-x) &= -(-x)^4 + 3 \\
 &= -x^4 + 3 \\
 &= f(x)
 \end{aligned}$$

よって、**偶関数**である.

$$\begin{aligned}
 (3) \quad f(-x) &= (-x)^2 - (-x) \\
 &= x^2 + x \\
 f(-x) &\neq f(x), \quad f(-x) \neq -f(x)
 \end{aligned}$$

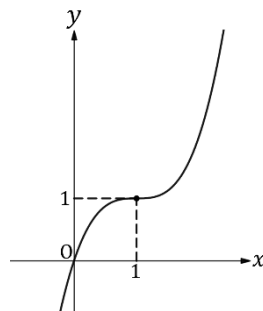
よって、**奇関数でも偶関数でもない**.

問2

(1) この関数のグラフは、 $y = x^3$ のグラフを
 x 軸方向に1, y 軸方向に1平行移動したものである.

また、 $x = 0$ のとき

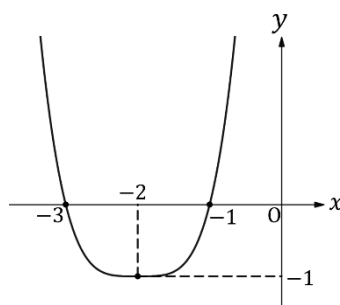
$$\begin{aligned}
 y &= (0 - 1)^3 + 1 \\
 &= -1 + 1 = 0
 \end{aligned}$$



(2) この関数のグラフは、 $y = x^4$ のグラフを
 x 軸方向に-2, y 軸方向に-1平行移動したものである.

また、 $x = 0$ のとき

$$\begin{aligned}
 y &= (0 + 2)^4 - 1 \\
 &= 16 - 1 = 15
 \end{aligned}$$



問3

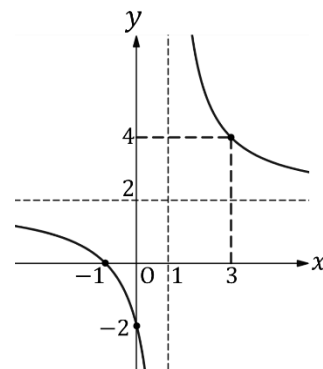
(1) この関数のグラフは、 $y = \frac{4}{x}$ のグラフを x 軸方向に1,
 y 軸方向に2平行移動したものである.

定義域は、 $x \neq 1$, 値域は、 $y \neq 2$ **漸近線は、 $x = 1, y = 2$** また、 $x = 0$ のとき

$$y = \frac{4}{0 - 1} + 2 \text{ より, } y = -2$$

 $y = 0$ のとき

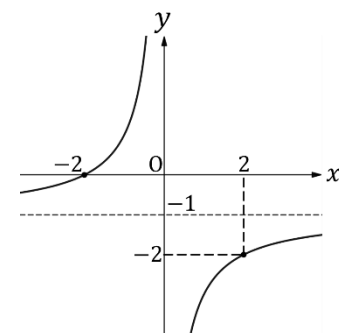
$$0 = \frac{4}{x - 1} + 2 \text{ より, } x = -1$$



(2) この関数のグラフは、 $y = -\frac{2}{x}$ のグラフを
 y 軸方向に-1平行移動したものである.

定義域は、 $x \neq 0$, 値域は、 $y \neq -1$ **漸近線は、 $x = 0, y = -1$** また、 $y = 0$ のとき

$$0 = -\frac{2}{x} - 1 \text{ より, } x = -2$$



(3) この関数のグラフは、 $y = -\frac{3}{x}$ のグラフを

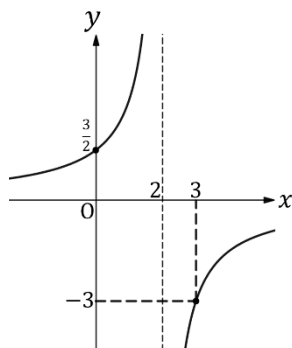
x 軸方向に2平行移動したものである.

定義域は, $x \neq 2$, 値域は, $y \neq 0$

漸近線は, $x = 2$, $y = 0$

また, $x = 0$ のとき

$$y = -\frac{3}{0-2} \text{ より, } y = \frac{3}{2}$$



問4

(1) 分子を分母で割ると

$$\begin{array}{r} 3 \\ x-1 \overline{) 3x-2} \\ \underline{3x-3} \\ 1 \end{array}$$

$$\text{よって, } y = \frac{1}{x-1} + 3$$

この関数のグラフは, $y = \frac{1}{x}$ のグラフを

x 軸方向に1, y 軸方向に3平行移動したものである.

定義域は, $x \neq 1$, 値域は, $y \neq 3$

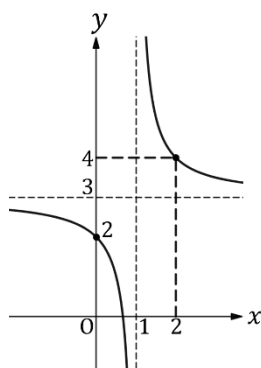
漸近線は, $x = 1$, $y = 3$

また, $x = 0$ のとき

$$y = \frac{1}{0-1} + 3 \text{ より, } y = 2$$

$y = 0$ のとき

$$0 = \frac{1}{x-1} + 3 \text{ より, } x = \frac{2}{3}$$



【式変形別解】

$$y = \frac{3(x-1)+1}{x-1}$$

$$= \frac{3(x-1)}{x-1} + \frac{1}{x-1}$$

$$= \frac{1}{x-1} + 3$$

(2) 分子を分母で割ると

$$\begin{array}{r} -3 \\ x+1 \overline{) -3x} \\ \underline{-3x-3} \\ 3 \end{array}$$

$$\text{よって, } y = \frac{3}{x+1} - 3$$

この関数のグラフは, $y = \frac{3}{x}$ のグラフを x 軸

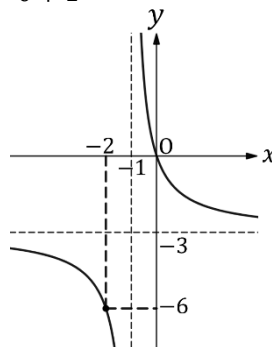
方向に-1, y 軸方向に-3平行移動したものである.

定義域は, $x \neq -1$, 値域は, $y \neq -3$

漸近線は, $x = -1$, $y = -3$

また, $x = 0$ のとき

$$y = \frac{3}{0+1} - 3 \text{ より, } y = 0$$



【式変形別解】

$$y = \frac{-3(x+1)+3}{x+1}$$

$$= \frac{-3(x+1)}{x+1} + \frac{3}{x+1}$$

$$= \frac{3}{x+1} - 3$$

問5

(1) $4-x \geq 0$ より, 定義域は, $x \leq 4$

(2) $x^2 - 3x - 10 \geq 0$ を解くと

$$(x+2)(x-5) \geq 0$$

$$x \leq -2, x \geq 5$$

よって, 定義域は, $x \leq -2, x \geq 5$

(3) 分母 $\neq 0$ であるから, $x-3 > 0$ より,

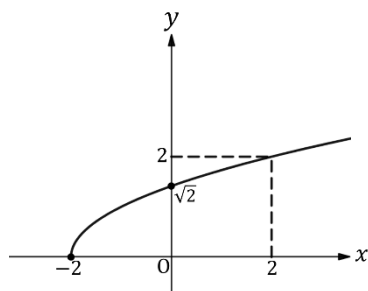
定義域は $x > 3$

問 6

- (1) この関数のグラフは、 $y = \sqrt{x}$ のグラフを x 軸方向に
 -2 平行移動したものである。

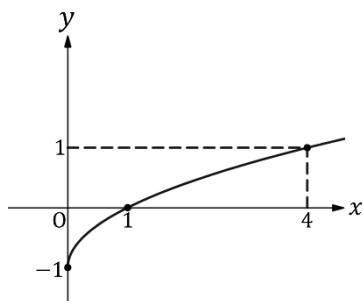
定義域は、 $x + 2 \geq 0$ より、 $x \geq -2$ 、値域は、 $y \geq 0$

また、 $x = 0$ のとき、 $y = \sqrt{0+2} = \sqrt{2}$



- (2) この関数のグラフは、 $y = \sqrt{x}$ のグラフを y 軸方向に
 -1 平行移動したものである。

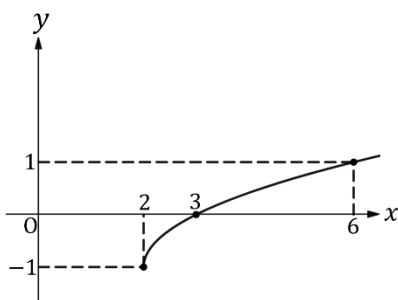
定義域は、 $x \geq 0$ 、値域は、 $y \geq -1$



- (3) この関数のグラフは、 $y = \sqrt{x}$ のグラフを x 軸方向に
 2 、 y 軸方向に -1 平行移動したものである。

定義域は、 $x - 2 \geq 0$ より、 $x \geq 2$ 、値域は、 $y \geq -1$

また、 $y = 0$ のとき、 $0 = \sqrt{x-2} - 1$ より、 $x = 3$



問 7 $y = f(x)$ とする。

- (1) 求める関数の式は、 $y = -f(x)$ であるから

$$\begin{aligned} y &= -f(x) \\ &= -(x^2 - x + 1) \\ &= -x^2 + x - 1 \end{aligned}$$

よって、 $y = -x^2 + x - 1$

- (2) 求める関数の式は、 $y = f(-x)$ であるから

$$\begin{aligned} y &= f(-x) \\ &= (-x)^2 - (-x) + 1 \end{aligned}$$

$$= x^2 + x + 1$$

よって、 $y = x^2 + x + 1$

- (3) 求める関数の式は、 $y = -f(-x)$ であるから

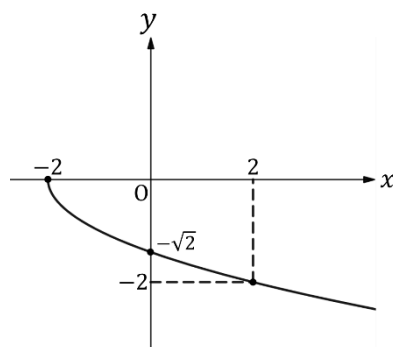
$$\begin{aligned} y &= -f(-x) \\ &= -\{(-x)^2 - (-x) + 1\} \\ &= -(x^2 + x + 1) \\ &= -x^2 - x - 1 \end{aligned}$$

よって、 $y = -x^2 - x - 1$

問 8 問 6 の関数を $y = f(x)$ とおく。

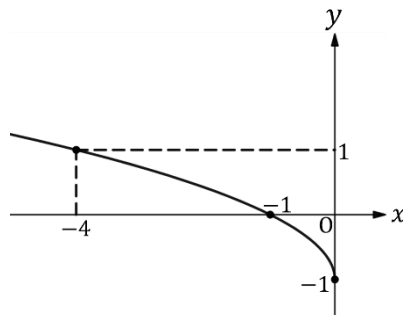
- (1) この関数のグラフは、 $y = -f(x)$ であるから

問 6 のグラフを x 軸に関して対称にしたものである。



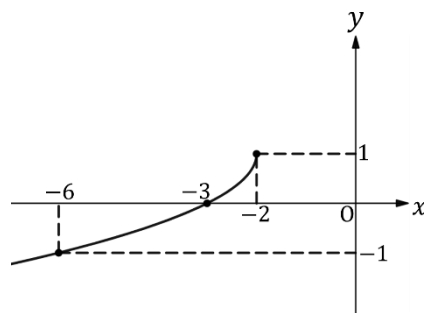
- (2) この関数のグラフは、 $y = f(-x)$ であるから

問 6 のグラフを y 軸に関して対称にしたものである。



- (3) この関数のグラフは、 $y = -f(x)$ であるから

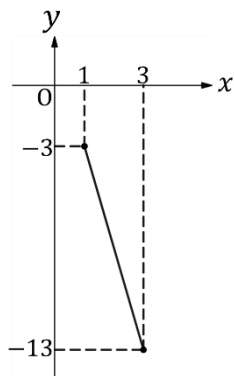
問 6 のグラフを原点に関して対称にしたものである。



問 9

- (1) $x = 1$ のとき、 $y = -5 \cdot 1 + 2 = -3$

$x = 3$ のとき、 $y = -5 \cdot 3 + 2 = -13$



よって、この関数の値域は、 $-13 \leq y \leq -3$

$y = -5x + 2$ を x について解くと

$$5x = -y + 2$$

$$x = -\frac{1}{5}y + \frac{2}{5}$$

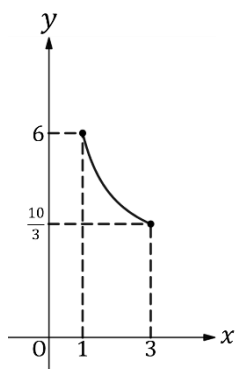
よって、逆関数は、 $y = -\frac{1}{5}x + \frac{2}{5}$

また、逆関数の定義域、値域はそれぞれ

$$-13 \leq x \leq -3, 1 \leq y \leq 3$$

$$(2) \ x = 1 \text{ のとき, } y = \frac{4}{1} + 2 = 6$$

$$x = 3 \text{ のとき, } y = \frac{4}{3} + 2 = \frac{10}{3}$$



よって、この関数のグラフの値域は、 $\frac{10}{3} \leq y \leq 6$

$y = \frac{4}{x} + 2$ を x について解くと

$$xy = 4 + 2x$$

$$(y - 2)x = 4$$

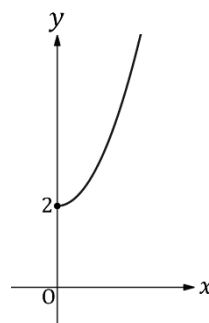
$$x = \frac{4}{y - 2} \quad \left(\frac{10}{3} \leq y \leq 6 \text{ より, } x \neq 2 \right)$$

よって、逆関数は、 $y = \frac{4}{x - 2}$

また、逆関数の定義域、値域はそれぞれ

$$\frac{10}{3} \leq x \leq 6, 1 \leq y \leq 3$$

$$(3) \ x = 0 \text{ のとき, } y = 0^2 + 2 = 2$$



この関数の値域は、 $y \geq 2$

$y = x^2 + 2$ を x について解くと

$$x^2 = y - 2$$

$$x = \pm\sqrt{y - 2}$$

$x \leq 0$ より、 $x = -\sqrt{y - 2}$ であるから、

逆関数は、 $y = -\sqrt{x - 2}$

また、逆関数の定義域、値域はそれぞれ

$$x \geq 2, y \leq 0$$